

解答

一 典型 2 額 3 こめだら 4 ばくまつ

二 1 頭 2 顔 3 口 4 筆

三 1 異 2 支 3 間 4 逆

四 1 春 2 冬 3 秋

五 問一 私
問二 ウ

生存のための行動基準
人間にプログラムされた善悪の枠組み

問六 エ 人間の く なった
人間以外の動物は遺伝子を共有する近縁な個体の間で利他行動が見られるが、人間は遺伝的には近縁関係
にない人のことも助ける。

問七 人間
問八 ア

問九 イ
問十 ウ
問十一 エ

六 問一 一文字
問二 エ
問三 エ

ギター
ギターの話をした時、女の子の目が輝いた気がした。

問四 ギター
問五 ア
問六 (1) 紗英と曲を演奏し、笑って過ごすこと。
(2) 紗英に男の友だちがいて、いつもいっしょに練習していることがわかったから。

問七 ウ
問八 声を合わせて
問九 ギターでコ く なかった。

解説

五 問五 ⑤の後にある「人間は、仲間を」で始まる段落に、人間が生きていくためには、団結が必要で、ひとりひ
とりはそれほど力も強くないが、仲間と力を合わせることで、人間のパワーは格段にアップするという内
容から、理由として適当なものは選択肢エであることがわかります。

問十一 本文では、人間が進化してきた生き物であり、生存のための行動基準こそ、人間にプログラムされた善悪

問二

の枠組みであることを説明しています。「みなさんの常識的な感覚と、見事に一致していませんか？」と締めくくっていることから、選択肢工が一致することがわかります。

問八

②の後にある「気持ちが生みそうになっている。このまま黙って教壇を下りたのでは、負けを認めることになる。そう思った。」という記述から、理由として適当なものは選択肢工であることがわかります。⑧の前後に着目します。紗英に男の友だちがいて、いつもいっしょに練習をしているということに、軽い落胆を感じていることや、せっかく誘ってくれた紗英の申し出を断ることができなかったことから、選択肢工が適当であることがわかります。